

10) 寺澤捷年：和漢診療の実際 8—病因と表裏について一。看護学雑誌 50：930—933, 1986.

11) 寺澤捷年：和漢診療の実際 9—陰陽と虚实・寒熱について一。看護学雑誌 50：1050—1053, 1986.

12) 寺澤捷年：和漢診療の実際10—太陽病の治療について一。看護学雑誌 50：1170—1173, 1986.

13) 寺澤捷年：和漢診療の実際11—少陽病の治療について一。看護学雑誌 50：1290—1293, 1986.

14) 寺澤捷年：和漢診療の実際12—陽明病の治療について一。看護学雑誌 50：1410—1413, 1986.

15) 土佐寛順, 寺澤捷年, 檜山幸孝, 今田屋 章：漢方的腹候“心下痞鞭”と血中カテコールアミンとの関連について。和漢医薬学会誌 2：656—657, 1985.

16) 渡辺裕司, 檜山幸孝：レボドパの毒性と副作用。薬局 37：35—37, 1986.

17) 三瀧忠道：大黄製剤にみられる抗尿毒症作用の臨床。治療学 16：21—25, 1986.

18) 寺澤捷年：漢方と心身相関。S P S October：27—44, 1986.

19) 城石平一, 矢野三郎：漢方薬。「最近の薬物療法 6 糖尿病・腎炎」現代医療社：57—67, 1986.

20) 寺澤捷年：和漢診療からみた頭痛, 頭痛の一特殊型—奔豚気病について一。とやま県医報 Na930：28—29, 1986.

21) 寺澤捷年, 長瀬千秋：学会記—第四回国際東洋医学会一。日本医事新報 第3221号：50—52, 1986.

22) 寺澤捷年：こんな時は漢方治療を。「読むクリニック」朝日新聞学芸部編, 208—211, 1986.

23) 寺澤捷年：評価指標としての血液学的変化, S O D・ホルモンに関する研究。「証・経穴の科学的事実証及び生薬資源の確保に関する研究」研究成果報告書(昭和61年度)：200—204, 1986.

24) 堀越 勇, 鳥居塚和生：薬事新報・実務シリーズ・調剤と製剤「漢方の調剤と製剤」1397号：25—31, 1403号：53—56, 1406号：25—29, 1986.

25) 寺澤捷年：漢方と痛み。痛みの治療講習会, 1986, 4, 熊本.

26) 寺澤捷年：頭痛の一特殊型—奔豚気病について。昭和61年度富山県麻酔科医会研究会, 1986, 5, 富山.

27) 土佐寛順, 嶋田 豊, 寺澤捷年, 金木美智子, 今田屋 章：消化性潰瘍に対する漢方治療の現状報告。富山県消化性潰瘍研究会, 1986, 6, 富山.

28) 鳥居塚和生, 土佐寛順, 寺澤捷年：当帰及び

当帰含有製剤の血液性状に対する作用。第2回富山和漢薬懇話会, 1986, 8, 富山.

29) 寺澤捷年：脊髄病巣診断のコツ。整形外科立山セミナー, 1986, 8, 富山.

30) 三瀧忠道, 寺澤捷年, 横澤隆子, 大浦彦吉：大黄並びに大黄含有漢方方剤による慢性腎不全患者の治療経験。第13回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1986, 11, 富山.

31) 寺澤捷年：東洋医学における“気”の概念と呼吸器疾患。第27回呼吸器心身症研究会(特別講演), 1986, 12, 大阪.

検 査 部

教授 桜川 信 男
助教授 高橋 薫
助手 斎藤 宗 一

◆ 著 書

1) 桜川信男：血友病およびその類似疾患の新しい治療薬。「立山シンポジウムIII 凝固・線溶・血小板研究——基礎と臨床——」風間睦美他編, 184—189, 宇宙堂八木書店, 1986.

2) 桜川信男：アンチトロンビンIII富山：Arg → Cys 置換とヘパリン結合能。「立山シンポジウムIII 凝固・線溶・血小板研究——基礎と臨床——」風間睦美他編, 95—101, 宇宙堂八木書店, 1986.

3) 桜川信男：アンチトロンビンIII。「凝固線溶因子と臨床」山中學他編, 110—122, 富士レビオ, 1986.

4) 桜川信男：播種性血管内凝固症候群。「今日の診断指針」亀山正邦他編, 833—886, 医学書院, 1986.

5) 桜川信男：脳血栓・塞栓症の線溶療法。「血栓の形成と溶解」阪口周吉他編, 167—180, メディカルリサーチセンター, 1986.

◆ 原 著

1) Arai H. Sakuragawa N. et al: Antiplatelet therapy using a combination of dilazep and aspirin in patients with occlusive cerebrovascular diseases. Acta Medica et Biologica 33:123—132, 1985.

2) Arai H., Sakuragawa N. et al: Studies on the effects of administration of DDAVP in patients with cerebrovascular occlusive diseases from the viewpoint of blood coagulation-fibrinolysis in vessel walls. Acta Medica Biological

33: 151—162, 1985.

3) 桜川信男, 新井弘之, 宮川照夫他: 脳血管障害にみられる血小板の変化. 最新医学41: 357—360, 1986.

4) Kaoru T., Sakuragawa N. et al: Antithrombin III Toyama: a congenital Antithrombin III abnormality with recurrent thrombophlebitis. *Acta Haemat Jpn*, 48: 219—229, 1985.

5) 丹羽正弘, 高橋 薫, 桜川信男他: 血小板表面で起こる凝固反応に対する艾葉の阻害作用. 和漢医薬学会誌2: 512—513, 1986.

6) 桜川信男, 佐々木博, 貝沼知男他, 第VIII因子関連抗原 (FVIII: Ag) に比較して第VIII因子凝固活性 (FVIII: C) の増加を示した von Willebrand 病症例. 新潟医学会雑誌100: 98—102, 1986.

7) Sakuragawa N., Simizu K. et al: Studies on the effects of PEG—modified urokinase on coagulation—fibrinolysis using beagles. *Thrombos. Res.* 41: 627—635, 1986.

8) 桜川信男他: Protein C 測定法の検討ならびにワーファリン服用時の Protein C を含むビタミン K 依存性凝固因子の変動. 臨床病理34: 464—468, 1986.

9) 吉田邦男, 安部 英, 桜川信男他: 血友病 A および von Willebrand 病患者に対する 1—deamino—8—D—arginine vasopressin (DDAVP) の止血効果—多施設臨床試験成績—. 臨床と研究63: 1385—1402, 1986.

10) 風間嘉晶, 桜川信男, 宮川照夫他: 肝硬変および脳血管障害時での protein C の変動. 新潟医学会雑誌100: 398—401, 1986.

11) 桜川信男, 宮川照夫, 新井弘之他: プレカリクレイン測定法の検討および脳血管障害時におけるプレカリクレインの変動. 最新医学41: 2427—2430, 1986.

12) 桜川信男, 新井弘之, 宮川照夫他: D D A V P (1—deamino—8—arginine vasopressin) 注射による血管壁線溶低下および凝固亢進所見と脳血栓の発現. 最新医学41: 2630—2635, 1986.

13) 丹波知登世, 丹波正弘, 桜川信男他: 合成抗トロンビン剤 (MD—805) とヘパリンの抗凝固性. 最新医学41: 2870—2875, 1986.

14) Yamagishi R., Niwa M. and Sakuragawa N.: Thrombin inhibitory activity of heparin cofactor II depends on the molecular weight and sulfate amount of dextran sulfate. *Thromb. Res.* 44: 347—354, 1986.

◆ 総 説

1) 桜川信男: アンチトロンビンIII異常と補助因子. 最新医学41: 175—180, 1986.

2) 桜川信男: PIVKA の検査法. 臨床検査30: 240—244, 1986.

3) 桜川信男: 凝固線溶系. 日本臨牀44: 1034—1041, 1986.

4) 山岸良一, 丹羽正弘, 桜川信男他: ヘパリン依存性蛋白質に関する研究. *Biomedical Science* 6: 131—134, 1986.

5) 桜川信男: 凝固線溶系. 日本臨牀44: 1034—1041, 1986.

6) 桜川信男: アンチトロンビンIII異常症. 臨床検査30: 785—787, 1986.

7) 桜川信男: 血栓症の成因とその治療. 新潟医学会雑誌100: 233—236, 1986.

8) 桜川信男, 高橋 薫, 佐藤伸二: アンチトロンビンIIIの DIC における治療効果. 老人診療7: 245—247, 1986.

9) 山岸良一, 丹羽正弘, 桜川信男: ヘパリンコファクターIIの抗トロンビン活性に及ぼすデキストラン硫酸の分子量および硫酸含量の影響. 血液と脈管17: 476—478, 1986.

◆ 学会報告

1) 小川 宏, 新井弘之, 桜川信男他: 脳血管障害時の脳幹部二次出血に関する神経病理学的検討. 第27回日本神経病理学会 1986, 6, 横浜.

2) 桜川信男: 凝固制御機構とその調節因子. 第83回日本内科学会シンポジウム, 1986, 4, 東京.

3) 桜川信男: Glycosaminoglycans と凝血系. 第83回日本内科学会, 1986, 4, 東京.

4) 鎌田健一, 新井弘之, 桜川信男: クモ膜下出血100例の凝固学的検討. 第45回脳外科学会, 1986, 11, 東京.

5) Sakuragawa N., Kondo K., et al: Symposium IV. Advances in hemophilia (clinical and research). XVII International Congress of the World Federation of Hemophilia, 1986, 6, Milan.

6) 大門良男, 桜川信男: Susceptibility of Isolated Strains to Antimicrobial Agents during the Last Five Years. 第35回日本臨床衛生検査学会, 1986, 5, 岐阜.

7) 内記三郎, 細谷孝子, 桜川信男他: 酸性ホスファターゼ (ACP) アイソザイム分離の自動化. 第18回日本臨床検査自動化学会, 1986, 9, 東京.

8) 山岸良一, 風間嘉晶, 桜川信男他: ヘパリンコファクターIIの生化学的性状. 第4回日本血液学

会北陸地方会, 1986, 7, 金沢.

9) Ogawa H., Arai H., Sakuragawa N. et al: Internal carotid artery occlusion treated with urokinase. X International—Congress of Neuro-pathol, 1986, 9, Stockholm Sweden.

10) 山岸良一, 小出武比古, 桜川信男: 化学修飾によるヘパリンコファクターIIの抗トロンピン作用機構の解析. 第59回日本生化学学会, 1986, 9, 大阪.

11) Sakuragawa N., Kondo K. et al: Influence of protein Ca and other serine proteases on factor VIII and modified factor VIII. International Conference on Fibrinolysis, 1986, 9, Hamamatsu.

12) 高橋 薫, 丹羽正弘: Heparin とその関連疎白による血液凝固の制御. 第28回日本臨床血液学会, シンポジウム, 1986, 10, 秋田.

13) 奥田忠行, 林 史朗, 桜川信男他: 携帯用長時間脳波記録装置 Ambulatory EEG (Medidata M—300) のアーチファクトの検討. 第33回日本臨床病理学会, 1986, 10, 伊勢.

14) 風間嘉晶, 丹羽正弘, 桜川信男他: ヘパリンコファクターIIの EIA による測定. 第33回日本臨床病理学会, 1986, 10, 伊勢.

11) 霜鳥智也, 丹羽正弘, 桜川信男他: AT—III affinity を中心とした LMW heparin と通常 heparin の凝血学的比較検討. 第28回日本臨床血液学会, 1986, 10, 秋田.

16) 佐藤伸二, 高橋 薫, 桜川信男他: 血中不飽和脂肪酸と血小板第3因子能との関連について. 第28回日本臨床血液学会, 1986, 10, 秋田.

17) 高橋 薫, 山岸良一: アンチトロンピンIII欠損症および異常症. 第33回日本臨床病理学会, シンポジウム I, 1986, 10, 伊勢.

18) 桜川信男, 丹羽正弘, 山岸良一他: トロンボモジュリン複合体に対する各種阻害物質の作用. 第27回日本脈管学会, 1986, 10, 山梨.

19) 細川史郎, 萬羽賀津雄, 桜川信男他: 先天性第V, 第VIII因子結合症による抜歯後異常症出血1治療例. 第31回日本口腔外科学会, 1986, 10, 久留米.

20) 山岸良一, 高橋 薫, 桜川信男: 化学修飾によるヘパリンコファクターIIトロンピン反応機構の解析. 第9回日本血栓止血学会, 1986, 12, 東京.

21) 風間嘉晶, 丹羽正弘, 桜川信男他: プロテインCインヒビターに関する研究(2). 第9回日本血栓止血学会, 1986, 12, 東京.

手 術 部

部長(兼任)	伊 藤 祐 輔
助 教 授	佐藤根 敏 彦
助 手	杉 森 隆
助 手	佐々木 均
助 手	富 田 博
助 手	積 永 清 志
文部技官	中 丸 勝 人
文部技官	高 道 昭 一
文部技官	奥 野 政 一

◆ 原 著

1) Takashi Sugimori: Shortened Action of Succinylcholine Chloride in Individuals with Cholinesterase C_s isozyme. Canadian Anaesthetists' Society Journal **33**: 321—327, 1986.

2) 佐々木均, 佐藤根敏彦, 杉森隆, 福岡敬二, 朴沢二郎: 聴性中間反応に及ぼす全身麻酔薬の影響. 麻酔 **35**: 1330—1334, 1986.

3) 佐々木均, 富田博, 佐藤根敏彦, 杉森隆, 伊藤祐輔, 朴沢二郎: 笑気の中耳内圧に及ぼす影響. 北陸麻酔学雑誌 **20**: 9—18, 1986.

4) 佐藤根敏彦, 松田公夫, 辻口喜代隆, 伊藤祐輔: 手術材料の適正在庫についての検討. 日本手術部医学会誌 **7(2)**: 115—117, 1986.

5) 高道昭一, 佐藤根敏彦, 久世照五, 伊藤祐輔: 試作した配管づまり検出器によるセントラルパイピングの点検. 日本手術部医学会誌 **7(2)**: 267—269, 1986.

6) 奥野政一, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔: 手術部におけるX線管理—被曝・漏洩・散乱線量の測定より一. 日本手術部医学会誌 **7(2)**: 312—314, 1986.

7) 八木裕一郎, 増田明, 中丸勝人: 新鮮血輸血時の各種マイクロ輸血フィルターの血小板数に対する影響. 北陸麻酔学雑誌 **20**: 19—22, 1986.

8) 八木裕一郎, 久世照五, 里村敬, 中丸勝人, 高道昭一: 人工心肺中の補体値, 白血球数の変動. 臨床麻酔 **10**: 177—180, 1986.

◆ 学会報告

1) 高道昭一, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 渋谷伸子, 広田弘毅, 久世照五: 麻酔器流量計精度測定上の留意点. 第60回日本医科器械学会大会, 1985, 5, 東京.

2) 佐々木均, 佐藤根敏彦: 聴性誘発反応に及ぼす各種全身麻酔薬の影響. 第33回日本麻酔学会, 1986, 4, 京都.

3) 窪秀之, 田辺隆一, 久世照五, 中丸勝人, 高